

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	歴史総合	2	1	クラス単位

使用教科書	副教材等
歴史総合（実教出版）	準拠ノート

科目の目標 ①知識及び技能 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ②思考力、判断力、表現力等 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③学びに向かう力、人間性等 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにしている。
② 思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法	
①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどにに基づき評価する。	
②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントに基づき評価する。	
③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などにに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A歴史の扉	歴史の扉	①私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ②近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。	○	○	◎
4	B近代化と私たち (1)近代化への問い	第1章 近代化への胎動	①17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通などを基に日本からみたアジアの政治・経済・社会を理解する。 ②17世紀から19世紀にかけての日本における経済活動の特徴、アジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
5	(2)結びつく世界と日本の開国	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	①18世紀前後のヨーロッパやアメリカ大陸における生産と流通、アジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀前後の世界の政治と社会を理解する。 ②18世紀前後のヨーロッパ地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
6	(3)国民国家と明治維新	第3章 欧米諸国と国民国家の形成	①日本と欧米諸国の外交関係を基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解する。 ②19世紀後半の日本と欧米諸国の関係を多面的・多角的に考察、表現する。	◎	○	○
7	C国際秩序の変化や大衆化と私たち (1)国際秩序の変化や大衆化への問い	第4章 帝国主義の時代	①帝国主義の動き、日本と東アジアの関係などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解する。 ②19世紀から20世紀初頭における、アジア地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
9 10	(2)第一次世界大戦と大衆社会	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	①第一次世界大戦前後の国際協調体制や大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ②第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
11 12	(3)経済危機と第二次世界大戦	第6章 経済危機と第二次世界大戦	①世界恐慌、ファシズムによる国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ②国際協調体制の動揺の要因、第二次世界大戦の推移と影響、大戦後の国際秩序の形成が及ぼした影響などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
1	Dグローバル化と私たち	第7章 冷戦と脱植民地化	①冷戦下の紛争、先進国の動向などの国際政治の変容及び世界経済の拡大と高度経済成長下の日本の社会を理解する。 ②地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
2		第8章 多極化する世界	①冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とその対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ②冷戦後の国際政治の特徴と日本の役割を多面的・多角的に考察、表現する。	○	◎	○
3		第9章 グローバル化と現代世界	②現代的な諸課題を展望し、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	○	◎	○

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	地理総合	2	1	人文社会系列

使用教科書	副教材等
高等学校 新地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	準拠ノート

科目の目標 社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図などを用いたり調査結果や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
② 思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存関係、空間的相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論しようとしていたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法 授業プリント等の記述やグループワークへの取り組み状況 中間・期末・学年末テストの点数 提出物への取り組み状況や授業そのものへの取り組み状況も評価の対象とします。

学習計画				評価の観点		
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	①	②	③
4	第1部 地図でとらえる現代社会	第1節 地球上の位置と時差 ・位置の基準～地球上の緯度・経度 ・時間の基準～時差と標準時	・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。	○		
5	(1) 地図と地理情報システム	第2節 地図の役割と種類 ・身の回りの地図を集める ・地理院地図の活用 ・地図・GISの仕組みと役割	・日常生活の中でみられる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や重要性などについて理解する。 ・現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につける。		○	
6	(2) 結びつきを深める現代社会	中間テスト 第1節 現代世界の国家と領域 ・視点を変えてみた日本の位置 ・国家とその領域 ・海に広がる日本の領域 ・日本の領域に関する問題 ・国家間の結びつき ・交通・通信による結びつき ・貿易・物流による結びつき ・観光による結びつき	・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野からみた日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代世界の地域構成をもとに、国家間の課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
7	第2部 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解	第1節 世界の地形と人々の生活 ・変動帯とプレート ・河川がつくる地形と生活 ・海岸の地形と生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境に影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。	○		
9		期末テスト			○	○
10		第2節 世界の気候と人々の生活 ・大気の循環 ・各気候帯における自然環境と生活 ・農業の発展と生活文化 ・工業の発展と生活文化 ・商業・サービス業の発展と生活文化	・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地理的環境の特色や世界各地の生活文化について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
		期末テスト			○	○
		第3節 世界の言語・宗教と人々の生活 ・宗教・言語の分布と生活文化 ・移民と難民 ・生活文化の多様性			○	
11		4節 歴史的背景と人々の生活 ・水の恵みと生活文化(南アジア) ・河川による恵みと生活文化 ・水の恵みによる発展と課題	・世界地誌についての学びを基に現代世界が互いに影響を受けたり、与えたりして成り立っていることについて理解する。 ・世界地誌についての学びを基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。			○
12		・経済統合による生活文化の変化(EUと周辺諸国) ・自然環境と農業 ・産業・交通の発達による一体化 ・統合の進展と課題	・世界地誌について、授業で取り扱われた地域の特徴やそれ以外の地域との関わりに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界地誌について、国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
1		期末テスト			○	○
		・土地の開発による生活文化の形成(フアンアメリカ) ・農牧業の発展と生活文化 ・発展と社会に見られる課題				○
2	(2) 地球的課題と国際協力	第2節 地球環境問題 ・環境問題と持続可能な社会 ・森林減少・砂漠化とその対策 ・気候変動とその対策	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地域的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し、理解する。 ・地球的課題解決を目指した、持続可能な社会の実現を目指す各国の取組や国際協力の必要性を理解する。			○
		第3節 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギーと課題 ・リサイクル・再生可能エネルギー	・地球的課題について、地域結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地球的課題と国際協力について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。			○
		学年末テスト			○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	世界史探究	2	2	人文社会系列

使用教科書	副教材等
新詳世界史探究（帝国書院）	準拠ノート

<p>科目の目標</p> <p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
--

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
② 思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	
①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。	
②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。	
③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A 世界史へのまなざし(1)地球環境から見る人類の歴史	1部 世界史へのまなざし 1章 地球環境からみる人類の歴史	①人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 ②諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し表現する。	◎	○	○
	(2)日常生活から見る世界の歴史	2章 日常生活からみる世界の歴史 ・家族の形態の変化と歴史 ・感染症への対応の歴史	①衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 ②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。	○	○	◎
5	B 諸地域の歴史的特質の形成(1)諸地域の歴史的特質への問い	2部 諸地域の歴史的特質の形成 序章 古代文明の歴史的特質	①文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。	○	◎	○
	(2)古代文明の歴史的特質	1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 1節 中華文明の形成 2節 秦漢帝国と東アジア 3節 中央ユーラシアと遊牧国家 4節 遊牧帝国の興亡と移動 5節 ユーラシアの変動と東アジア	①オリेंट文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解すること。 ②古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
6・7	(3)諸地域の歴史的特質	2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質 1節 南アジアの文明と国家形成 2節 東南アジアの社会と国家形成	①秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。②仏教の成立とヒンドウー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。③西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。④東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。⑤南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。⑥西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
	C 諸地域の交流・再編(1)諸地域の交流・再編への問い	第3部 諸地域の交流・再編 ・複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	①資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。②諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。	○	○	◎
10・11・12	(2)結び付くユーラシアと諸地域	1章 ユーラシア大交流圏の成立 1節 イスラーム世界の拡大 2節 ヨーロッパ封建社会の展開 3節 東アジア諸地域の成長と自立 4節 ユーラシア大帝国の出現	①西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。②諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
	(3)アジア諸地域とヨーロッパの再編	2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出 1節 明の国際秩序と東・東南アジア 2節 世界帝国清とアジア諸地域の成熟 3節 スペインとポルトガルの進出 4節 イスラーム世界の成熟 3章 主権国家体制の成立と交易の拡大 1節 ルネサンスと宗教改革 2節 主権国家の形成と「17世紀の危機」 3節 東欧の台頭とヨーロッパ文化の成熟 4節 イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	①西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解する。宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙も思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。②アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
1・2・3						

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	2	2	人文社会系列選択

使用教科書	副教材等
精選日本史探究（実教出版）	

科目の目標 ①知識及び技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ②思考力、判断力、表現力等 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③学びに向かう力、人間性等 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

評価方法	
①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。	
②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントに基づき評価する。	
③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A 原始・古代の日本と東アジア (1)黎明期の日本列島と歴史的環境		①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 ②自然環境と人間の生活との関わり、アジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目し、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
5	(2)歴史資料と原始・古代の展望		①原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察する。	◎	○	○
6 7	(3)古代の国家と社会の展開と画期		①国家の形成、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。また、貴族政治の展開、地方支配の変化などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 ②中国王朝や朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について多面的・多角的に考察する。また、地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、古代の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○	◎	○
9	B 中世の日本と世界 (1)中世への転換と歴史的環境		①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 ②権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目し、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎	○	○
10 11	(2)歴史資料と中世の展望		①中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎	○	○
12 1	(3)中世の国家・社会の展開と画期		①武家政権の成立と展開、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。また、武家政権の変容、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ②公武関係の変化、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目し、中世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化と影響、社会の変化と文化との関係などに着目し、中世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○	◎	○
2 3	C 近世の日本と世界 (1)近世への転換と歴史的環境		①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ②村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎	○	○

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	世界史探究	3	3	人文社会系列

使用教科書	副教材等
新詳世界史探究（帝国書院）	準拠ノート

<p>科目の目標</p> <p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
--

<p>評価の観点とその趣旨</p> <p>① 知識・技能 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 思考・判断・表現 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> <p>評価方法</p> <p>①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。 ②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントに基づき評価する。 ③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。</p>
--

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	D 諸地域の結合・変容 (1) 諸地域の結合・変容への問い	4部 諸地域の結合・変容 複数の資料を読み解いて問いを表現しよう	①資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付ける。②諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、諸地域の結合・変容を読み解く観点について考察し、問いを表現する。	○	○	◎
5・6・7	(2) 世界市場の形成と諸地域の結合	1章 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生 1節 世界で最初の工業化 2節 アメリカの独立 3節 フランス革命と国民国家の誕生 4節 ラテンアメリカへの革命の普及 2章 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設 1節 イギリスの覇権と自由主義 2節 ヨーロッパに広がる国民国家 3節 アメリカ合衆国の拡大と国家統合 3章 世界の一体化の進展とアジアの変容 1節 イスラム王朝の解体と変容 2節 南・東南アジアの変容 3節 東アジア諸国の模索と変容	①産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解する。②大西洋沿岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地表的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
9・10	(3) 帝国主義とナショナリズムの高揚	4章 世界の一体化の完成とその影響 1節 帝国主義と世界分割競争 2節 アジア知識人による体制改革の試み 5章 世界大戦の時代 1節 第一次世界大戦と社会主義革命 2節 第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開	①第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解する。第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。②列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
11・12	(4) 第二次世界大戦と諸地域の変容	3節 大衆社会の到来とファシズムの出現 4節 第二次世界大戦とその惨禍 6章 戦後の国際秩序と冷戦	①世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動向などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解する。第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。②世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地表的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
1	E 地球世界の課題 (1) 国際機構の形成と平和への模索 (2) 経済のグローバル化と格差の是正	5部 地球世界の課題 1章 冷戦の展開と平和の模索 1節 集団安全保障と冷戦の展開 2節 新たな始まり 3節 新しい国際秩序を求めて 2章 グローバル化する国際経済とその課題 1節 冷戦下の経済秩序と格差 2節 グローバル経済の光と影	①集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の顕著などを基に、紛争解決の取組と課題を理解する。②国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ①先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動向、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差是正の取組と課題を理解する。②国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	◎	○
2	(3) 科学技術の高度化と知識基盤社会 (4) 地球世界の課題の探究	3章 情報と科学技術によって結びつく世界 4章 地球世界の課題の探究	①原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術、バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解する。②科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ①歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を理解する。②地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	○	○	◎

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	3	3	人文社会系列選択

使用教科書	副教材等
精選日本史探究（実教出版）	

科目の目標

①知識及び技能
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

②思考力、判断力、表現力等
我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

③学びに向かう力、人間性等
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

評価方法

- ①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。
- ②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントに基づき評価する。
- ③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	(2) 歴史資料と近世の展望		①近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎	○	○
	(3) 近世の国家・社会の展開と画期		①法や制度による支配秩序の形成と身分制、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。また、産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ②織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達などに着目し、近世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響などに着目し、近世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○	◎	○
7	D 近現代の地域・日本と世界 (1) 近代への転換と歴史的環境		①対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ②欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎	○	○
	(2) 歴史資料と近代の展望		①近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察する。	◎	○	○
10	(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造		①明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 ②アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について多面的・多角的に考察する。	○	◎	○
			①文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ②欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響などに着目して、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について多面的・多角的に考察する。	○	◎	○
12			①恐慌と国際関係、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 ②国際社会やアジア近隣諸国との関係、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて多面的・多角的に考察する。	○	◎	○
			①占領政策、憲法の成立、平和条約と独立の回復、高度経済成長などを基に、我が国の再出発及び現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 ②冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次大戦後の国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察する。	○	◎	○
3	(4) 現代の日本の課題の探究		①歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解する。 ②歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察する。	○	◎	○

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	日本史探究	2	3	自由選択F群

使用教科書	副教材等
精選日本史探究（実教出版）	

科目の目標
<p>①知識及び技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまるとともに技能を身に付けるようにする。</p> <p>②思考力、判断力、表現力等 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③学びに向かう力、人間性等 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の観点とその趣旨
<p>① 知識・技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまるとともに技能を身に付けている。</p> <p>② 思考・判断・表現 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いている。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。</p>
評価方法
<p>①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。 ②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。 ③主体的に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。</p>

学習計画				
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点 ① ② ③
4	A 原始・古代の日本と東アジア (1) 黎明期の日本列島と歴史的環境		①旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解する。 ②自然環境と人間の生活との関わり、アジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目し、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。	◎ ○ ○
			①原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察している。	◎ ○ ○
	5 古代の国家と社会の展開と画期		①国家の形成、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、原始から古代の政治、社会や文化の特色を理解する。また、貴族政治の展開、地方支配の変化などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。 ②中国王朝や朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について多面的・多角的に考察する。また、地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、古代の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
			①貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解する。 ②権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目し、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
	6 中世の日本と世界 (1) 中世への転換と歴史的環境		①中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
			①武家政権の成立と展開、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。また、武家政権の変容、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ②公武関係の変化、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目し、中世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化と影響、社会の変化と文化との関係などに着目し、中世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
7 中世の国家・社会の展開と画期		①中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○	
		①武家政権の成立と展開、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。また、武家政権の変容、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 ②公武関係の変化、ユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目し、中世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会や経済の変化と影響、東アジアの国際情勢の変化と影響、社会の変化と文化との関係などに着目し、中世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○	
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点 ① ② ③
9	C 近世の日本と世界 (1) 近世への転換と歴史的環境		①織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ②村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
			①近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
	10 近世の国家・社会の展開と画期		①法や制度による支配秩序の形成と身分制、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。また、産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動向と諸藩の動向、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ②幕藩体制との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達などに着目し、近世の国家・社会の展開について多面的・多角的に考察する。また、社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響などに着目し、近世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
11	D 近現代の地域・日本と世界 (1) 近代への転換と歴史的環境		①対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ②欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治、経済の動向と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
			①近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ②歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察する。	◎ ○ ○
	12 近現代の地域・日本と世界の画期と構造		①明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 ②アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
1			①文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ②欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響などに着目して、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
			①恐慌と国際関係、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 ②国際社会やアジア近隣諸国との関係、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
			①占領政策、憲法の成立、平和条約と独立の回復、高度経済成長などを基に、我が国の再出発及び現代の政治や社会の仕組み、国民生活の変容を理解する。 ②冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次大戦後の国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○
3	(4) 現代の日本の課題の探究		①歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解する。 ②歴史の画期、地域社会の諸相と日本や世界との歴史的な関係、それ以前の時代からの継続や変化などに着目して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察する。	○ ◎ ○

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	世界史探究	2	3	自由選択G群

使用教科書	副教材等
新詳世界史探究(帝国書院)	準拠ノート

科目の目標	
(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	
(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意義や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。	
(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高度な日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

評価の観点とその旨	
① 知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
② 思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象の意義や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。
③ 主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して高度な日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	
①知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。	
②思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート、授業プリントなどに基づき評価する。	
③主体的に取り組む態度…授業の振返り、課題の提出状況などに基づき評価する。	

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりことこの学習目標	評価の観点 ①②③
4	A 世界史へのまなざし 1章 地球環境からみる人類の歴史	1章 地球環境からみる人類の歴史	①人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関係性を理解する。②諸事象を捉えるための時間的尺度や、諸事象の空間的な広がりなどに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。	◎ ○ ○
	(2) 日常生活から見る世界の歴史	2章 日常生活からみる世界の歴史	①衣食住、家族、教育、娯楽などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	○ ○ ◎
4	B 諸地域の歴史的特徴の形成(1) 諸地域の歴史的特徴への問い	2章 諸地域の歴史的特徴の形成	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連性に着目し、諸地域の歴史的特徴を読み解く観点について考察し、問いを表現する。	◎ ○ ◎
	(2) 古代文明の歴史的特徴	3章 古代文明の歴史的特徴	①古代文明の歴史的特徴を基に、古代文明の歴史的特徴を理解すること。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
5	(3) 諸地域の歴史的特徴	4章 諸地域の歴史的特徴	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	C 諸地域の交流・再編(1) 諸地域の歴史的特徴への問い	5章 諸地域の歴史的特徴	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	○ ○ ◎
7	(2) 結び付きのヨーロッパと諸地域	6章 結び付きのヨーロッパと諸地域	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	(3) アジア諸地域の成熟とヨーロッパの再編	7章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの再編	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
9	(4) 世界市場の形成と諸地域の統合	8章 世界市場の形成と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	(5) 第二次世界大戦と諸地域の統合	9章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
11	(6) 第二次世界大戦と諸地域の統合	10章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	(7) 第二次世界大戦と諸地域の統合	11章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
12	(8) 第二次世界大戦と諸地域の統合	12章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	(9) 第二次世界大戦と諸地域の統合	13章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
1	(10) 第二次世界大戦と諸地域の統合	14章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	(11) 第二次世界大戦と諸地域の統合	15章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
2	(12) 第二次世界大戦と諸地域の統合	16章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	(13) 第二次世界大戦と諸地域の統合	17章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
3	(14) 第二次世界大戦と諸地域の統合	18章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎
	(15) 第二次世界大戦と諸地域の統合	19章 第二次世界大戦と諸地域の統合	①資料から情報を読み取りまとめる技能を身に付ける。②諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史とのつながりを考察し、表現する。	◎ ○ ◎

教科	科目	単位数	学年	集団
地理歴史	歴史探究	2	3	人文社会系列あるいは自然科学系列

使用教科書	副教材等
未定	

科目の目標 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	課題を主体的に追究しようとしている。

評価方法
①小テスト、ワークシート ②ワークシート、小テスト、レポート、プレゼンテーション ③ポートフォリオ・ワークシート・レポート・プレゼンテーション

学習計画						
月	内 容	単 元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5	歴史に関する事象を個人またはグループごとに選択し、資料を活用し、基礎科目で身に付けた資質・能力を用いて多面的・多角的に考察、構想し、レポート等にまとめ発表する探究活動を行なう。	主題の設定	「歴史総合」の学習を踏まえて、生徒自身が主題を設定し、問い(学習上の課題)や仮説を立てる。	◎	○	○
6 7		情報の収集・分析	教科書、資料集、新聞、テレビ、インターネット、図書館、科学館等の活用し、情報を収集し、分析する。	◎	◎	○
9 10		考察・構想	言葉による見方・考え方を働かせ、集めた情報を効果的に表現する。	○	◎	○
11 12		まとめ・表現	考察、構想したことから得られた結論をレポートにまとめ、プレゼンテーションを行ない、相互に説明したり意見を聴いたりする。	○	◎	◎
1		学習の振り返り	探究活動を振り返り、新たな課題を考察し、今後の学習につなげる。	○	○	◎

教科	科目	単位数	学年	集団
公民	公共	2	2	クラス単位

使用教科書	副教材等
数研出版 高等学校 公共 これからの社会について考える	数研出版 高等学校 公共 これからの社会について考える 整理ノート

科目の目標 ①知識及び技能 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ②思考力、判断力、表現力等 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 ③学びに向かう力、人間性等 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
② 思考・判断・表現	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法	
① 知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート・授業プリントなどにに基づき評価する。	
② 思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート・授業プリントなどにに基づき評価する。	
③ 主体的に学習に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などにに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標 (数字は評価の観点と対応)	評価の観点		
				①	②	③
4	A 公共の扉 (1) 公共的な空間を作る私たち	公共的な空間をつくる私たち	① 人間は、自らを成長させ、伝統や文化などに触れることで自らの価値観を形成し、相互の存在や価値観を尊重する存在であることを理解する。 ② 他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
5	(2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方	第1章 公共的な空間における人間としての在り方生き方	① 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。また、諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ② 社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などを活用し、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察することを通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
6	(3) 公共的な空間における基本的原理	第2章 公共的な空間における基本原則	① 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 ② 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
7	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	第3章 ルールをつくり守る私たち	① 法や規範に関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きにより、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。また、諸資料から、情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ② ①の事柄について主題を設定し、考察結果を論拠をもって表現する。	○	◎	○
9 10		第4章 政治に参加する私たち	① 政治参加に関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。また、諸資料から、情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ② ①の事柄について主題を設定し、考察結果を論拠をもって表現する。	○	◎	○
11 12 1		第5章 経済活動を行う私たち	① 経済活動に関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉を向上させたりする役割を政府などが担っていること及び経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。また、諸資料から、情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ② ①の事柄について主題を設定し、考察結果を論拠をもって表現する。	○	◎	○
2 3	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探究編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	② 持続可能な社会づくりの課題を見いだし、その課題の解決に向けて、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。	○	◎	○

教科	科目	単位数	学年	集団
公民	倫理	2	3	自由選択D群

使用教科書	副教材等
実教出版 詳述 倫理	浜島書店 最新図説 倫理

科目の目標 ①知識及び技能 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べとめる技能を身に付けるようにする。 ②思考力、判断力、表現力 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 ③学びに向かう力、人間性等 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。
評価方法	
① 知識・技能…定期テスト、小テスト、ノート・授業プリントなどに基づき評価する。 ② 思考・判断・表現…定期テスト、課題、ノート・授業プリントなどに基づき評価する。 ③ 主体的に学習に取り組む態度…授業の振り返り、課題の提出状況などに基づき評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめりの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4 5 6 7 8	A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 (1)人間としての在り方生き方の自覚	第1章 自己形成と自己の生き方 第1節 青年期の課題と自己形成 第2節 人間とは何か	①知・技 個性、感情、認知、発達などに着目して、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深めるための手掛かりとなる様々な人間の心の在り方について理解する。 ②思・判・表 自己の生き方を見つめ直し、自らの体験や悩みを振り返り、自己の課題を捉え、その課題を現代の倫理的課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
		第2章 人間としてのあり方生き方 第1節 ギリシア思想 ～第6節 宗教・芸術と人生	①知・技 幸福、愛、徳などに着目して、人間としての在り方生き方に関わる様々な人生観について理解する。 ②思・判・表 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	◎	○
		第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方 第1節 人間の尊厳 ～第6節 現代の暴力に抗して	①知・技 ・善、正義、義務、真理、存在などに着目して、社会の在り方と人間としての在り方、世界と人間の在り方に関わる様々な倫理観や世界観について理解する。 ・先哲の思想に関する諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付ける。 ②思・判・表 古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、より広い視野から人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	◎	○
12 1 2	(2)国際社会に生きる日本人としての自覚	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1節 古代日本人の思想 ～第4節 西洋思想の受容と展開	①知・技 ・我が国の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方に関わる人間観、自然観、宗教観などの特質について理解する。 ・日本の先哲の思想に関する諸資料から、日本人としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付ける。 ②思・判・表 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。	◎	○	○
2	B 現代の諸課題と倫理(1)自然や科学技術に関わる諸課題と倫理	第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 第1節 生命の倫理 ～第3節 科学技術の倫理	②思・判・表 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	○	◎	○
3	(2)社会と文化に関わる諸課題と倫理	第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 第1節 福祉の課題 ～第3節 平和の課題	②思・判・表 ・福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述する。	○	◎	○